

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	川村泰子・藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

公衆衛生看護は、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、人々の生活に視点をおいた支援を行っています。公衆衛生看護活動を展開するための地域保健活動の基本とその理論について学修します。また、事業化する、施策化することの意義と実際について学修します。

【到達目標】

1. 地域保健活動の意味について理解できる。
2. 地域保健活動の方法と理論について理解できる。
3. 地域アセスメントで着目する質的情報について、代表的な調査方法と特徴を説明できる。
4. 演習を通じて地域の健康課題を見出して評価し、実情に基づいて説明ができる。
5. 公衆衛生看護過程における事業化・施策化の過程を考察し説明できる。

【授業計画・内容】

1. 公衆衛生看護としての地域保健活動
2. 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割
3. 地域保健活動を必要な保健師の能力
4. 地域保健活動の理論・モデル (1) 活用できる理論
5. 地域保健活動の理論・モデル (2) 行動を生み出す力
6. 地域保健活動の理論・モデル (3) 地域活動の理論・方法
7. 保健師の活動形態と方法
8. 公衆衛生看護活動における事業化 (1) 意味と意義
9. 公衆衛生看護活動における事業化 (2) プロセス
10. 公衆衛生看護活動における事業化 (3) 評価
11. (演習) 事例の検討
12. (演習) グループの発表
13. (演習) 地域包括ケアシステム
14. (演習) グループの発表
15. 公衆衛生看護活動と住民のパートナーシップ

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書をよく読むこと。報道や日常生活で、人々の健康課題に関する政策について関心を持つこと。

【主な関連する科目】

公衆衛生看護学の科目全般

【教科書等】

岸恵美子ほか：保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術，メヂカルフレンド社，2022。

一般財団法人 厚生労働統計協会：厚生統計協会編「国民衛生の動向 2023/2024 年」2023。

【参考文献】

佐伯和子ほか：公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護の方法と技術第 2 版，医歯薬出版株式会社，2022

佐伯和子：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第 2 版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案，医歯薬出版株式会社，2018

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題レポート・演習への取組等 15%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験を活かして地域の健康状態を広く把握する手法を伝えていきます。

【学生へのメッセージ】

主体的な演習により実践能力が身につく科目です。地域の健康課題を見出すために、一見異なって見える性質の情報を集め、横断的に考察する過程を学びます。継続的に考え続ける学修スタイルを今まで以上に高めていきましょう。また、暮らしている地域や出身地について、健康課題を見出す意図をもってみつめなおし、公衆衛生看護の思考過程を習得しましょう。